



〈発行〉名古屋芸術大学

子どもコミュニティセンター

センター長になり2ヶ月、「にこにこワークショップ」で様々な場面に、楽しく関わらせていただいております。

梅雨の時期、あちらでもこちらでも顔を覗かせている水色、紫、白色の紫陽花たち、よく見ると、それぞれ微妙に違う味わいある色彩を帯びていて、まるで個性豊かな子どもたちのようです。

5月の初日第一回目に、四年生学生2名が大型絵本の読み聞かせをさせていただきました。学生の声があまりにリズムカルで歌うように心地よく私には聞こえ不思議に思いました。後でなぜかと考えたら、学生のおおよそ441Hz（一点イ音周辺）で読み聞かせをしていたことに気づきました。オーケストラのチューニングが一点イ音おおよそ441Hzですので、きっと人間の耳にも心地よく聞こえるのでしょう。さすが芸術大学の中で保育者を目指す学生だと誇らしく思いました。

幼稚園の創設者フレーベルは「子どもは自ら成長する力をもって生まれる。大人の役割は自らの力で伸びようとする子どもを助けることであり、そのような子どもに何かを教え込むことはむしろ有害である」と言いました。「にこにこワークショップ」でも、子どもが自ら成長する力を妨げない育てる保育を紹介していきたいと思います。

また、「人が外界と繋がるために大切で必要不可欠な五感是指を使ったりすることで2、3歳から6歳の頃に著しく発達する」といわれるように、子どもたちには是非、折り紙を折ったり、工作などをする中でゆったりと大切な感覚を育てていって欲しいと願っています。

将来保育園・幼稚園・こども園・小学校の先生を目指す学生が、音響のよいホールで演奏する機会が年3回あります。芸術大学の中の「にこにこワークショップ」に来ていただいている皆様には、是非ご来場していただきたいと切望します。直近では、8月3日(土) 2号館大アンサンブル室で13時開演「サマーコンサート」を開催します。ディズニーからクラシックまで幅広いジャンルの曲をエレクトーンデュオやピアノとエレクトーンのアンサンブル、ピアノ独奏、歌、フルートで演奏します。もちろん乳幼児のお子様も大歓迎です。

私事ですが、昨年年末にドイツのドレスデン「ゼンパーオペー」で鑑賞したバレエ「くるみ割り人形」では、客席の子どもの歓声に舞台のバレリーナが手を振っている姿がありました。子どもを大事にするドイツという国の本質をみたような気がしました。日本のコンサートなどよりとても多くの子どもが楽しげに鑑賞していることにも大変驚きました。日本も音楽芸術をもっと身近なものに感じられるようにしたいものです。

名古屋芸術大学子どもコミュニティセンターでは、目覚ましく変化する複雑な現代社会を生き抜かなくてはならない子ども達が、より豊かな感性と表現力を育めるようアート力を存分に活用していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



子どもコミュニティセンター長 星野英五

活動報告

～にこにこワークショップの1日～



9:30 部屋の開放

自由な遊び



室内の気に入った遊具を使って自由に遊びます。

2歳前後のお子さんは、お母さんが近くにいることで安心して遊びます。まだまだ、一人遊びや遊具を転々と移りながら遊びますが、自由に遊ぶ中で、自分のしたいことを楽しんだり、同年齢の子どもとの出会いのなかで、いろいろな気づきをしていきます。好きな遊具で満足するまで楽しませてあげてください。

「遊びから育まれる力」

Pickup① 【ままごと】

コップやお皿にケーキ、くだもの etc、煮たり、焼いたり、切ったり、水を出してボールで洗ったり…お母さんの家事の様子を見てイメージを膨らませています。

ままごとは、お母さんや友達と関わり、まねっこをして会話を楽しむことのできる遊びです。



Pickup② 【大型ソフト積み木】

いろいろな形の積み木を自分で運び縦や横にして積み上げたり、トンネルにしています。完成するとその上を渡ったりくぐったり、飛び降りる等、体を動かして遊びます。

遊びの中で、バランス感覚や柔軟性、体幹を育てます。足の裏・指先の力も育ちます。



10:40 片付け



テーマ遊び

10:45

テーマを設定した活動がありますが、「みんなで一緒に」ということが、まだ分からない年齢です。お子さんに無理をさせず、まずは、お母さんが楽しんで参加していただくことで、子どもは「みんなですることが楽しい」ということを知っていきます。我が子が参加しないからと言って、あせらないでくださいね。

作って遊ぼう

描いたり、貼ったり、いろいろな材料に触れ、お母さんと共にすることで作ることへの興味・関心を育てます。



戸外で遊ぼう

大学内の環境を生きし季節の変化の中で、砂場遊び・水遊び・かけっこ等の外遊びをお母さんやお友達と一緒に楽しみ、自然を感じています。



楽しく遊ぼう

お母さんと一緒に体操やふれあい遊びをします。わらべ歌やゲーム等を通して同じ場所でみんなとすることを楽しめます。



11:20 手遊び・絵本・歌

読み聞かせ、リズムに合わせて手指を動かし、曲に合わせて歌うなど、一緒に楽しむ場になります。

11:30 おしまい

感想を記入していただきます。

12:00 部屋の退室

「さよなら」の言葉を交わし、人と関わる基礎を経験します。





健康について

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を育てましょう。

子どもの興味や関心、成長していく姿をじっくり見極めて、環境や関わりを工夫します。安全対策や事故防止も必要ですが、「危ないからダメ」と必要以上に子どもの動きを止めないようにしましょう。発達著しいこの時期、子どもの自発的な活動をじっくり見守りましょう。

子どもが明るく伸び伸びと活動するためには、情緒が安定していることが基本です。周囲から主体として受け止められ、自分を肯定する気持ちをもつことで、情緒は安定していきます。

～生活の基本を作りましょう～

運動

走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びをする。



生活習慣

食事や午睡、遊びと休息など、生活のリズムを整える。



食事

様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。



清潔

身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。



着脱

大人の助けを借りながら、衣類の着脱を自分でしようとする。



☆愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活することで健康が育まれていきます。

子どもは、依存と反抗を繰り返しながら、自立します。
依存というのは、自分のいうことを聞いてもらうこと。一方、反抗というのは、無理やりに言うことを聞かせようとすることです。

安心して居るから
子どもは、親に反抗します。
「こんなワルでも好き？」と、
反抗します。

A、乳幼児期の反抗期は2〜3歳ごろまでに起ります。
何を言っても「イヤなの！」「やらない！」とアマンジャクな反応をする子どもの相手をするのは、ほんとうにたいへんです。

Q、激しい反抗期が終わりませんか。
いつまでもイヤイヤと言わせていいの？
着替えもイヤ！
片づけるのもイヤ！
遊ぶのもイヤ！
いったいあなたはどうしたの！
半年以上も激しい反抗期が続いています。
これでいいの？
私もがまん限界。
イヤイヤがおさえられません。
(2歳)



反抗する子どもを、「反抗するのはすくすく育っているあかし。よしよし」と思っていることができれば、お母さんのイヤイヤも軽くなるのではないのでしょうか。
そうやって、気持ちをちゃんと受け止めていると、反抗期は短くなります。

つまり、依存も反抗も、「わたしの言うことを聞いてください」と同じことを訴えているのです。
反抗が大きい時期は自立しようともがいている時期です。それをしっかり受け止めていけば、反抗は終わります。でも—
おさえつけてしまうと、
かえって反抗は長引きます。
気をつけましょう。

後期の予定



11月1日(金)

「芸大祭 にこここワークショップ」

学生主催のワークショップです！絵本の読み聞かせ、楽器演奏等、楽しい催しを予定しています。14時以降は模擬店もOPENします。



12月7日(土)

「お父さんと一緒に遊ぼう」

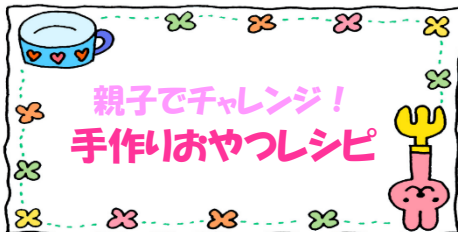
平日は仕事でなかなか来ることができないお父さん。お母さんから話は聞いていてもどんなところなのかイメージが湧かない…。そんな「お父さんにも知ってもらいたい」というお母さん達からの声を受け、第1回目の「お父さんと一緒に遊ぼう」を開催します。



申し込み方法

11月1日(金)・12月7日(土)のお申込みは10月から窓口にて先着順で受け付けます。

	水曜日		木曜日	
10月	2日	作って遊ぼう	3日	楽しく遊ぼう
	9日	戸外で遊ぼう	10日	作って遊ぼう
	16日	楽しく遊ぼう	17日	戸外で遊ぼう
	23日	戸外で遊ぼう	24日	作って遊ぼう
			31日	楽しく遊ぼう
11月	1日(金)【芸大祭】 時間：午後12時30分～ ※申込みが必要です			
	6日	楽しく遊ぼう	7日	戸外で遊ぼう
	13日	世代間交流	14日	戸外で遊ぼう
	20日	戸外で遊ぼう		
	27日	作って遊ぼう	28日	楽しく遊ぼう
12月	4日	戸外で遊ぼう	5日	作って遊ぼう
	7日(土)【お父さんと一緒に遊ぼう】 時間：通常通り ※申込みが必要です			
	11日	作って遊ぼう	12日	楽しく遊ぼう
	18日	楽しく遊ぼう	19日	作って遊ぼう
1月	8日	楽しく遊ぼう	9日	作って遊ぼう
	15日	楽しく遊ぼう	16日	おわりの会 ※申込みが必要です



じゃがいものくまさんパンケーキ



材料(4枚分)

じゃがいも	2個	ソーセージ	4本
卵	1個	コーン(缶詰)	1カップ
牛乳	100cc	オリーブオイル	適宜
A)		ケチャップ	適宜
小麦粉	100g	海苔	適宜
ベーキングパウダー	小さじ1	スライスチーズ	適宜
砂糖	大さじ1		

作り方

- ①ボウルにAを入れる。混ぜたところにすり下ろしたじゃがいもと卵と牛乳を入れてよく混ぜる。
- ②ソーセージは輪切りにし、コーンも加えて混ぜる。
- ③フライパンにオリーブオイルを入れて、生地をくまの顔の形になるように流し、中火で焼く。
- ④生地がふつふつとしてきたら裏返し、両面こんがり焼く。海苔で目と鼻をつくる。スライスチーズで鼻の周りをつくる。食べるときにケチャップを添える。

スタッフ紹介

- ・子どもコミュニティーセンター長
星野 英五 (名古屋芸術大学教授)
- ・指導員：雑賀 澄子
渡邊 美和子
太田 みちよ
- ・事務職員：新原 幸



令和元年5月よりワークショップの指導員をさせていただくことになりました。かわいい子ども達と触れあえるのを楽しみにしています。日々子育ての悩みはつきませんが、忙しい中、ここにきて、子どもと向きあって、いろいろな体験をし、一緒に楽しむことで子育ての楽しさを実感してほしいと思います。子どもの成長を共に喜び、健やかな育ちのお手伝いをさせていただきます。よろしく願いいたします。

太田みちよ